

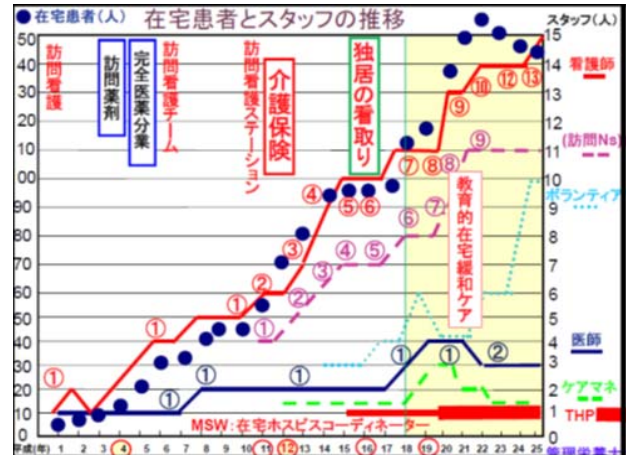
卓話資料 (1) 『在宅緩和ケアで朗らかに生きよう』

医療法人聖徳会 小笠原内科  
小笠原 文雄先生

岐阜北ロータリークラブ例会

在宅緩和ケアで朗らかに生きよう

平成26年2月12日(水) 13:00~13:30  
於:岐阜都ホテル 2階 例会場  
小笠原文雄  
医療法人聖徳会 小笠原内科 院長  
E-mail: [b.ogasaw@orion.ocn.ne.jp](mailto:b.ogasaw@orion.ocn.ne.jp)  
URL: <http://www.geocities.jp/ogasawaranaika/>  
日本在宅ホスピス協会 会長  
E-mail: [n-hospice@coast.ocn.ne.jp](mailto:n-hospice@coast.ocn.ne.jp)  
URL: <http://sky.geocities.jp/nihonzaitakuhospi>



**わが人生、最高の笑顔**

79歳 肺がん 塵肺 **独居**  
20年6月18日 肺がん。O2吸入。  
9月12日 がん性疼痛、呼吸困難で**在宅緩和ケア**

10月8日 訪問入浴後、『ビールがうまい』  
11月18日 風呂に入れず、『そろそろ死ぬのかな』翌日、遺言を言いながら**旅立ち**。

9月26日 **生かされている命**

希望死・満足死・納得死

**貴女さえ居なければ** 65歳 肺がん 全身骨転移

20年8月7日 肺がん、骨転移で化学療法  
21年5月8日 激痛で動けず入院。『1~2ヶ月の命』  
18日 妻『看病は無理』 → 『独居なら希望が叶う』  
20日 痛い・辛い・不眠のまま、**在宅緩和ケア**開始

遠方なので、近所の医院・訪問看護ステーションとも連携

6月12日 モルヒネの持続皮下注

笑わん殿下の**笑顔**  
ビールがうまい

6月18日 旅立ち  
『最期まで看病できちゃった』  
妻が**満面の笑顔**

**今が一番幸せ** 70歳 子宮平滑筋肉腫

20年 7月 ラグビーボール大の腫瘍を手術 **日中独居**  
21年 7月 ブレイクスで、**在宅緩和ケア** → **笑顔**  
9月 イレウスだから入院したい。 → **人工肛門は意味がない。**

10月中旬 **満面の笑顔**  
ありがとう **PCAは命綱**

**今が一番幸せ**  
10月末 旅立ち

**今が一番幸せ**

台所の料理の匂いに癒される。かつおぶしの**香り**。  
家族の団らん風景、生活の場だなぁ。  
**今が一番幸せ**。天国にいる様だ。  
先生が『行ってもいいよ』と言われれば、  
このままさよならでもいいけど、  
『居てもいいよ』と言われれば、  
そりゃあ、まあ、居たいわねえ。  
あの世でもこの世でも、どちらでもいい感じ。  
**ありがとう** -と、手を握る。




卓話資料 (2) 『在宅緩和ケアで朗らかに生きよう』

医療法人聖徳会 小笠原内科  
小笠原 文雄先生

**がんサバイバー 余命3ヶ月、もって6ヶ月、短いと1ヶ月**

62歳 男 大腸がん(多発肝転移)、食道がん  
NHK ニュース ウォッチ9  
7ヶ月前 手術、放射線、抗がん剤 → 拒否。

6ヶ月前 相談外来 → 緩和ケア外来  
2ヶ月前 食道狭窄 → スtent拒否、放射線治療中止  
1ヶ月前 在宅ホスピス緩和ケア  
『がんでよかった〜』  
8日前  
1ヶ月前 『仕事をやり終えた』  
4日前 トイレ介護  
2日前 『気持ちいい〜』  
当日 朝会話。昼 妻が看取り → 笑顔  
希望死 満足死 納得死  
8日後 7ヶ月間、死ぬまで目が輝いていた



**夢を見ているようだ**


88歳 悪性リンパ腫、左大腿骨頭部病的骨折 (老老)

19年12月 骨折で入院。悪性と本人に告知。  
20年4月 抗癌剤が使えなくなったので  
『在宅緩和ケア』  
骨折したままなので、動くとも痛い。  
9月 高熱が出る。 → おろおろ

熱が出るのは、生きてる証拠  
慌てず 騒がず 驚かず

- ・ビールがおいしい。
- ・デイサービスは楽しい。
- ・麻雀で大三元

23年2月23日



**余命1ヶ月。退院したら5日の命**

72歳 子宮腫瘍、両側胸水、腹水  
縦隔リンパ節腫大 遠方 15km  
両側胸水を毎日600ml排液  
盲目の息子と2人暮らし  
24年1月 20km離れた妹が相談外来  
患者 『家に帰りたい』  
医師 無理 O<sub>2</sub> 5ℓ/分 家で死んだら本望ですよ

2月13日 退院前共同指導  
2月14日 退院  
多職種協働  
笑顔




3月16日 お庭へ出れた  
4月13日 笑顔で暮らすと、元気になる  
8月18日 在宅フオーライ

Alb 1.9  
CA125 2040

私が患者です  
官僚もビックリ

Alb 2.8  
CA125 130

金華山




**香典返し** 68歳 男 脳出血、昏睡、四肢麻痺  
経鼻経管栄養、気管切開、人工鼻

24年11月 脳出血術後 意識戻らず。  
痰の吸引が2時間おき → 退院したら死ぬよ。

25年2月 在宅緩和ケア

栄養 1500ml → 1000ml  
吸痰 12回 → 4~5回  
訪問看護 週2回+24時間対応  
訪問介護 週10回  
訪問入浴 週2回  
ベッド 利用者負担 月34,000円

旅立ち 7日目

26年1月 希望死・満足死・納得死 → 黄色い本を香典返し



生き方・死に方を問う  
上野千鶴子が聞く  
小笠原先生、ひとり家で死ぬますか？

上野千鶴子 小笠原文雄

いのちの不思議さ？

患者・家族のための本  
医療者・介護者のための本

がんの在宅看取り率95%を達成する小笠原医師に、「在宅ひとり死」を問う。上野千鶴子が67の質問をします。

多くのお年寄りの悲願——家族がいようがいまいが、家で死にたい!

